

令和6年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

知財活用企業(特許)

株式会社堀場製作所

代表取締役社長 足立 正之

企業概要

<https://www.horiba.com/jpn/>

所在地：京都府京都市南区吉祥院宮の東町2番地

設立：1953年

資本金：12,011百万円

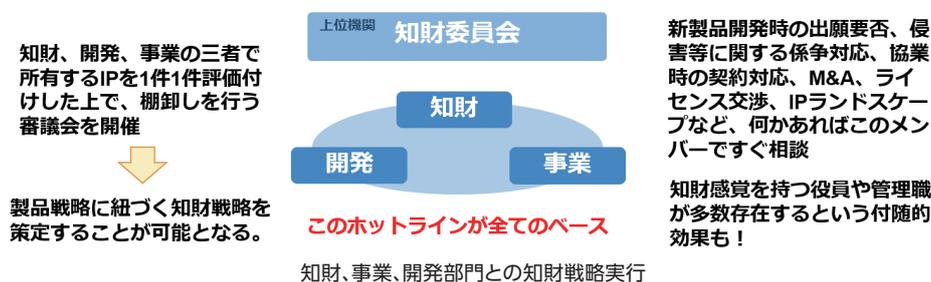
従業員：1,510人

事業概要：自動車計測機器、環境用計測機器、科学計測機器、
医用計測機器、半導体用計測機器の製造販売等



受賞のポイント

- ①特許（出願中も含む）の全件について、外国出願・審査請求・権利維持等の要否決定や価値評価付けを行う知財集中審議を実施。知財部門が主導し、事業・開発部門とともに行う。負担は大きいものの、これにより単に件数を追い求めるのではなく、情勢にあった製品戦略に紐づく知財戦略の実現が可能となるうえ、事業・開発部門や経営層への知財意識の浸透にもつながっており、同社における知財方針のベースとなっている。
- ②知財部員は「現場に足を運ぶ」方針で育成。担当事業の発明掘り起こしから出願権利化業務、他社特許調査、侵害鑑定、ライセンス交渉まで責任を持って行い、担当事業への愛着を育み、成長を促す。
- ③新規独創的な技術・知財の創出を奨励することを目的に「HORIBA Group IP World Cup」を海外子会社も対象に開催し、受賞者は日本本社で開催される表彰式に参加。「IP Global Meeting」という国内外知財担当者での会議も実施し、HORIBAグループ一体となった知財戦略の方針や課題の共有が可能に。外国出願は、前記の知財集中審議を経て決定するが、日本出願の約80%を欧・中等にPCT出願しており積極的。



HORIBA Group IP World Cup のポスター



HORIBA Group IP World Cup の表彰式